

2025 展覧会&イベントスケジュール

3 月 15 日 (土) ~ 4 月 22 日 (火) 本館

「軽井沢の文豪たちに逢いにゆく」

明治末期から昭和後期にかけて、軽井沢ゆかりの文学者約 50 人が軽井沢を舞台に描いた詩・小説・随筆・戯曲・俳句・短歌等の作品を、著作、原稿、初出紙誌、絵画等の資料約 200 点によって紹介します。近現代の軽井沢文学の歴史を辿ります。

4/23,24,25 休館

4 月 26 日 (土) ~ 7 月 14 日 (月) 本館

「戦後 80 年 戦後文学を拓いたひとびと ~荒正人宛サイン入り献呈本約 500 冊一挙公開~」

第二次世界大戦後のしばらくの間は、文学の分野では、様々な実験が試みられ、驚くほど多様な作品が誕生した時期でした。今回、多くの作家から文芸評論家・荒正人(「近代文学」創刊同人)に献呈されたサイン本約 500 冊を初めて一挙公開します。安部公房や三島由紀夫、大江健三郎をはじめ、軽井沢に山荘のあった中野重治、佐多稲子、福永武彦、中村真一郎、辻邦生、北杜夫らの著作が並び、戦後文学の豊饒さを見ることができます。

7/15,16,17,18 休館

7 月 19 日 (土) ~ 10 月 13 日 (月) 本館

夏季特別展「生誕 100 年 辻邦生展」(仮称)

本年は、1999 年夏の軽井沢山荘滞在中に急逝した作家・辻邦生の生誕 100 年を迎えます。この節目となる機会に、『背教者ユリアヌス』『春の戴冠』『西行花伝』などの歴史長編に今も多くファンの持つ辻邦生の文学世界をあらためて振り返る特別展を開催します。辻邦生はフランス留学から帰国後の 1964 年から晩年まで、約 35 年間にわたり、軽井沢で創作活動を行っていました。資料協力:霞会館記念 学習院ミュージアム。

9 月 20 日 (土) ~ 11 月 30 日 (日) 堀辰雄山荘

「蟲の歌を詠む」

俵万智や寺山修司、若山牧水ら多くの歌人が詠んだ『蟲』たちを、切り絵や芋版画、木版画とともに実物標本で表現します。岡田朝雄著『百蟲一首』より選歌。協力:新部公亮。

10/14,15,16 休館

10 月 17 日 (金) ~ 11 月 30 日 (日) 本館

「軽井沢の文豪たちに逢いにゆく<続>」

明治末期から平成期にかけて、軽井沢ゆかりの文学者約 50 人が軽井沢を舞台に描いた詩・小説・随筆・戯曲・俳句・短歌等の作品を、著作、原稿、初出紙誌、絵画等の資料約 200 点によって紹介します。近現代の軽井沢文学の歴史を辿ります。

12/1- 休館

<イベント>

- 高原文庫の会 8 月 2 日 (土) 14 時~ 企画
会場: 高原文庫中庭
- 高原の文学サロン 8 月 31 日 (日) 14 時~ 企画
会場: 高原文庫中庭
- 文学散歩 ①新緑の旧軽井沢を歩く 5/17(土)13 時 ②晩秋の信濃追分を歩く 10/25(土)13 時
- 辻邦生山荘を訪ねる ①9/13(土)13 時 ②10/4(土)13 時 ※予約開始日あり

※展覧会およびイベントのスケジュールは、変更または中止される場合があります。お出かけ前にホームページまたはお電話でお確かめください。